

マリンサイエンス

7月11日(火)～13日(木)にかけて、鳳珠郡能登町小木の金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において、1年生理数科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を視る眼や科学的な視野を養うことを目的としています。天候にも恵まれ、海の生物の採集や乗船実習を充分行うことができました。採集した生物を分類したあと、班ごとにテーマを決めて、その生物を題材とした探究活動を行い、最終日には発表を行いました。最優秀賞に選ばれた班には、景品として、サクラ貝の標本が授与されました。また、他にも金沢大学の鈴木先生からは「動物の不思議」、浦田先生からは「ウニの発生」についての講義をしていただきました。

1年生にとっては初めての泊まりがけのフィールドワークでしたが、生徒たちは、色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。



金沢大学環日本海域環境研究センター
臨海実験施設宿泊棟前にて



最優秀賞

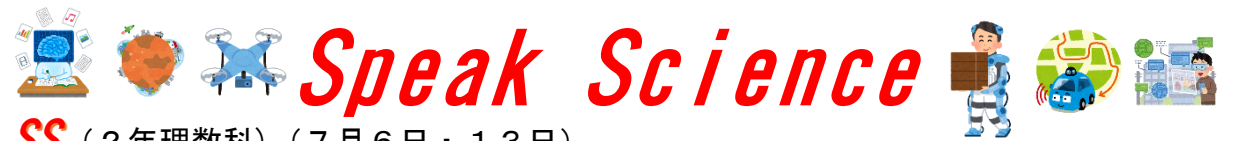


「ヤドカリ渋滞中！」

おめでとう!

～生徒の感想～

- 自分たちで採集したものを、自分たちで研究するという活動は少し大変だったけど、やりがいがあり、海洋生物の色々な発見ができてとても面白かったです。
- マリンサイエンスでは海で生物を採集するという貴重な体験ができた。また、班で協力し、テーマを決め、それを調べるために実験を重ねていくことなど、普段はできない経験がたくさんできた。
- 班で一つの研究に取り組み、一致団結したことでクラス全体のチームワークも上がったと思います。更に意見をお互いに言い合うことで、話し合いの仕方も学ぶことができました。
- マリンサイエンスで多種多様な海の生き物について学べました。実際に採集し、触ってみることで面白おかしい見た目や性質の生物をたくさん知ることができました。



SS (2年理数科) (7月6日・13日)

Future Technology at Hand (手の届く未来の技術) と題して、「火星移住」「自動運転車」「パワードスーツ」など未来を感じさせる10の技術についてスライド発表を行いました。聴衆を変えて同じ発表を繰り返すことで、どの班も回数を重ねるごとに上達が見られました。

テーマ: 「ドローン」「パワードスーツ」
「空飛ぶクルマ」「ブロックチェーン」
「自己学習する人工知能」「火星移住」
「自動運転車」「音声認識システム」
「デジタルクローン」「拡張現実」

